

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)

【公開番号】特開 2024-109678(P2024-109678A)
【公開日】令和 6 年 8 月 14 日(2024.8.14)
【年通号数】公開公報(特許)2024-151
【出願番号】特願 2024-78306(P2024-78306)
【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28(2006.01)

10

C 0 7 K 16/46(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 35/02(2006.01)

C 1 2 P 21/08(2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 0 7 K 16/46

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

20

A 6 1 P 35/02

C 0 7 K 16/28

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 15 日(2024.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト C D 3 に結合する抗原結合分子であって、ここで該抗原結合分子は、配列番号 1 0 5 2、1 0 5 4 及び 1 0 5 6 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの重鎖相補性決定領域 H C D R 1、H C D R 2 及び H C D R 3 を含む重鎖可変領域(H C V R)と、配列番号 1 2 3 6、1 2 3 8 及び 1 2 4 0 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの軽鎖相補性決定領域 L C D R 1、L C D R 2 及び L C D R 3 を含む軽鎖可変領域(L C V R)とを含む、上記抗原結合分子。

【請求項 2】

40

H C V R は配列番号 1 0 5 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の抗原結合分子。

【請求項 3】

L C V R は配列番号 1 2 3 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の抗原結合分子。

【請求項 4】

H C V R は配列番号 1 0 5 0 のアミノ酸配列を含み、L C V R は配列番号 1 2 3 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の抗原結合分子。

【請求項 5】

抗体又はその抗原結合フラグメントである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗原結合分子。

【請求項 6】

50

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗原結合分子、及び薬学的に許容しうる担体又は希釈剤を含む、医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の抗原結合分子、及び薬学的に許容しうる担体又は希釈剤を含む、医薬組成物。

【請求項 8】

それを必要とする被験体において癌を処置するための、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

それを必要とする被験体において癌を処置するための、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

H C V R 及び L C V R を含む単鎖可変領域フラグメント (s c F v) を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗原結合分子。

10

【請求項 11】

請求項 10 に記載の抗原結合分子、及び薬学的に許容しうる担体又は希釈剤を含む、医薬組成物。

【請求項 12】

それを必要とする被験体において癌を処置するための、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

配列番号 1052、1054 及び 1056 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの重鎖相補性決定領域 H C D R 1、H C D R 2 及び H C D R 3 を含む重鎖可変領域 (H C V R) をコードする第一の核酸分子；及び

20

配列番号 1236、1238 及び 1240 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの軽鎖相補性決定領域 L C D R 1、L C D R 2 及び L C D R 3 を含む軽鎖可変領域 (L C V R) をコードする第二の核酸分子を含む、核酸分子の対。

【請求項 14】

H C V R は配列番号 1050 のアミノ酸配列を含み、L C V R は配列番号 1234 のアミノ酸配列を含む、請求項 13 に記載の核酸分子の対。

【請求項 15】

請求項 13 又は 14 に記載の核酸分子の対を含む、単離された宿主細胞。

30

【請求項 16】

ヒト C D 3 に結合する抗原結合分子を製造する方法であって、

(a) 配列番号 1052、1054 及び 1056 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの重鎖相補性決定領域 H C D R 1、H C D R 2 及び H C D R 3 を含む重鎖可変領域 (H C V R) をコードする第一の核酸分子と配列番号 1236、1238 及び 1240 のアミノ酸配列をそれぞれ含む 3 つの軽鎖相補性決定領域 L C D R 1、L C D R 2 及び L C D R 3 を含む軽鎖可変領域 (L C V R) をコードする第二の核酸分子とを含む宿主細胞を、抗原結合分子の産生を可能にする条件下で培養すること；及び

(b) そのようにして産生された抗原結合分子を回収することを含む、上記方法。

40